学校通信

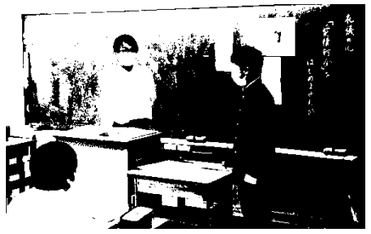
学校教育目標：「社会人基礎力の育成」

令和２年５月２６日　第６号　　四万十町立大正中学校

生徒会執行部あいさつ運動

５月１８日（月）から２２日（金）の期間、生徒会執行部が毎朝校門であいさつ運動を行いました。朝から気持ちいいあいさつができていました。登校してくる生徒の皆さんもしっかり、あいさつができていました。日に日に声が大きく響くようになり、一週間で随分良くなったと感じました。１年生、２年生で道徳の時間、挨拶について話し合いをしていましたが、行動につなげることが出来ていると感じました。では、１年生、２年生の道徳の内容を紹介します。

1年生　題名「愛情貯金をはじめませんか」



コラムニストの近藤勝重さんの作品「しあわせの雑学　笑顔編」の内容の一部で、あいさつが人と人との心の潤滑油であることを分かりやすく述べたエッセイ。その中で印象に残る言葉を紹介します。

「あいさつって、言葉のスキンシップになるんです。あいさつのあと、もう一言、例えば着ている服が『それ、ステキね。』とか、『よく似合うわ。』とほめられたりすると、スキンシップの貯金もできるんです。『愛情貯金』ですよね。」

【問い：あいさつについて、これからどんなことを大切にしていきたいか。】

「場にあった声の大きさ」「人の目を見てすぐにあいさつを言う」「いつものあいさつに加えてさらに他の話をする」「しっかり相手を見てあいさつをすることを大切にしていきたい」「人に会ったらしっかりあいさつをする」「先にあいさつをする」「反応する」「相手より先にあいさつする」「しっかり顔を見てあいさつをすることを大切にしたい」「あいさつをする時に相手の目を見て、礼をしてあいさつする」「先にあいさつして大きな声で言う」「あいさつをするのは相手がしたから。それに返すから無意識で返している。」

2年生　題名「挨拶は言葉のスキンシップ」

職場体験での一場面。主人公が体験する美容院で、いつも笑顔で周りの人たちに接している店長さんが主人公に語った言葉…、

「僕の若い頃のことだけど、人気のある美容師になりたくてさ、もう、がむしゃらに勉強したよ。その時の流行は何か、いろいろな本も読んだ。流行の服に合う髪型はどんなのがいいか、なんて考えてね。毎日夜遅くまで、そして休みの日もカットを練習したものさ。でも、ある日気がついたんだ。お客様は、僕よりも他の人を多く指名するんだよ。どうしてかわかる？」

さて、どうしてでしょうか？知識や技術を身に付け、挨拶もしているのになぜ？実は、お客さんは店長さんのことが怖かったそうなのです。**見せかけだけの笑顔や挨拶ではだめなんだということに気がついた店長さんは、どのように意識や行動を変えていったでしょうか？**

これについてはご家庭でも、子どもと一緒に想像してみてください。

【問い：心のこもった挨拶の意味とは？】

「相手の気持ちを悪くさせない」「自分の気持ちを素直に言葉で伝えること」「相手にいい気分になってもらう」「自分の気持ちが自然に伝わる」「自分の思いをあいさつにのせる」「相手の気持ちを考えること」「相手のことを思っている」「相手に敬意をもつこと」

それぞれ、道徳の時間を通してあいさつについて考えていました。あいさつ運動はいったん終了しましたが、授業の様子や問いに対する考えをみると、これからも相手を思いやり、気持ちのいいあいさつがきっと続いていくと思います。

新しい図書室の本を自分たちで選ぼう！（選書会）

５月２０日（水）に、図書室に新しく購入する本を選ぶための選書会を行いました。体育館一面に本を配置し、学年ごとに本をじっくり眺め希望する本を選びました。本を読むことにより、新しい知識を得たり、作品を通して自分自身と語り合うことができます。図書室の本をたくさん借りて、ご家庭でも本に親しみ、自分の新しい世界を広げていってもらいたいです。